



第338号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086) 420-1311



花を咲かそう



カット：本多紘子

春浅くいまだ風が冷たく感じる今日この頃ですが、皆様お変わりございませんでしょうか。日脚が伸び本格的な春もすぐそこです。

昨年9月から国内でインフルエンザが流行し、ウイルスのA香港型やA型のH1N1だけでなく、B型がいつもより早く12月頃から同時に流行し、今年の2月14日までの累積患者数は約1400万人と推計されています。複数の型のウイルスが流行し、同じシーズンに何度も感染する人もいるので、マスクやうがいが大切ですね。

新しいインフルエンザの治療薬として、塩野義製薬が開発した「ゾフルーザ」という飲み薬が、順調にいけば今年の5月にも発売されるそうです。いま処方されている「タミフル」は1日2回、5日間飲み続けますが、新薬は一回飲むだけでよく使いやすいのです。今年の受験生には間に合いませんが、来年の受験生は期待できそうです。

期待といえば、お隣の韓国の平昌で冬季オリンピックピックが2月8日から開催され、日本選手も期待どおりの活躍でした。特に男子フィギュアスケートで羽生結弦選手がソチ冬季五輪の金に続いて二連覇し、宇野昌磨選手も銀という好成績、またスピードスケート女子500円で小平奈緒選手が初の金を獲得し、愚僧も心より祝福します。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

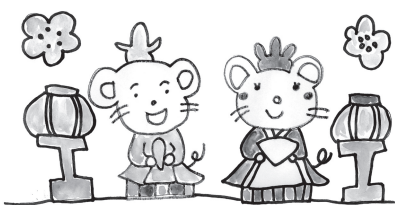
若者が自分の人生を花開かせようと、進学して勉強したり、スポーツや様々な活動をして自己実現の夢に向かって努力し、親や家族が協力するのは日本の国だけではありません。世界中の若者が夢と希望を膨らませますが、国によっては戦争や紛争によって財産や生命が奪われ、自己実現の可能性まで奪われるのは本当に悲しいことです。

世界一の経済大国であるアメリカでも貧富の差が二極化し、努力しても努力しても人生の花を開かせる自己実現が出来ない人が増え、世界の多様な考えや生活習慣を認める寛容な精神が失われています。アメリカで心を病んだ若者が、2月14日のバレンタインの日に退学させられていたフロリダ州の高校で自動ライフル銃を乱射して、17人の生徒が死亡し、15人が怪我をしました。アメリカの学校での発砲は、今年に入って18件目です。銃規制の出来ない国は悲しすぎますね。

弘法大師空海の『秘蔵宝鑰』には『三界の狂人は狂えることを識らず、四生の盲者は盲なることを識らず。生れ生れ生れ生れて生の始めに暗く。死に死に死に死んで死の終わりに暗し』とあります。仏教で三界とは欲界・色界・無色界を言います。欲界とは色欲や食欲などの欲望にまみれた境界であり、色界は欲望を離れた物質的な境界で、無色界は物質を超えた精神だけの世界のことです。つまり人間の迷いの世界のことを三界と言ったのです。迷いの世界にいる狂人は自分が狂っていることを識らず、あらゆる生きもの(四生)は自分たちが正しい眼を持ってはいないことを知らない。そこで何度も何度もいろいろな世界で生れ変わっても生きる意味を知ることが出来ず、何度も何度もいろいろな世界で死んでいっても死にいく意味がわからずに、ただただ迷いの世界を流転輪廻してきただけと歎かれた文章です。

学問とは問いを学ぶこと。正しい問いには正しい答えが返ってきます。人間とはナンダ。人間として生きる意味を真剣に尋ねよう。生き物が死んでいくことにも大切な意味がある。人間として生き、人間として死んでいくために、仏教を真剣に学ぼうよ。合掌(奥原 曇龍)

『欲得で一生過ぎると空しいな 花を咲かそう人間らしく』 どんりゅう



ともしび説法

カット：奥原 綾

日時・三月 七日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで
四月十五日「日曜日」 午前十時半から午後四時まで
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



お釈迦様ものがたり 17

お釈迦様の出家はインドの風習に強く影響されたもので、物心ついてからの男子の一生を学生期・家長期・林棲期・遊行期の四時期に分けて生きる習慣と関係したものです。

しかし、二十九歳で出家したお釈迦様は四時期の風習と少し違います。出家して林の中で木の実を食べ、厳しい修行をする林棲期、または修行が完成し人生問題が解決されて理想の境地が体得され、林を出て村や町で遊行者として托鉢しながら清楚に生きる遊行は、子供を育て上げ家督をゆずって家長期を終えた人が許される慣習が四時期だからです。

お釈迦様の出家は、一般の風習とは少し違っていました。当時は最初から学生期のみで一生を過ごしたり、独身のままで修行して一生を過ごす人も増えていたのです。

お釈迦様が、釈迦族の王子の位を捨てて王妃と生まれたばかりの子供を残し、カピラ城を出て出家したのは、人生問題を解決するためだと言われています。生母の摩耶夫人が、お釈迦様を産んだ七日目にして産後の肥立ちが悪く、亡くなったことが一番に影響したと言われています。また釈迦国は小さな国で、強大なコーサラ国の属国でしたから、いつ滅ぼされるかわからないという恐怖から、人生問題に悩んだという説もあります。

何故、人間に生まれたのか。何故、男に生まれたのか。何故、いつ滅ぼされるかわからない小さな国の王子に生まれたのか。幸せとは何か。人に慕われる生き方とは、どのような生き方なのだろうか。考えれば考えるほど憂鬱な日暮らしとなっていたのです。

お釈迦様は王子として、釈迦国で学び得られるあらゆる学問を先生について修め、社会人生の問題も究められるだけ考察し、それでも解決できなかった。世俗の幸福ではない真の人生の安らかさのために、真実の人生の師を求めて出家したので。合掌(奥原曇龍)

父と来し母と来し寺春の風 揺れるともしびふる里の鐘 田辺多恵子



心光寺のお餅つき風景

ともしび法話

3月には春のお彼岸月。『暑さ寒さも彼岸まで』という諺のように、今年は寒さが厳しかったので、春が待ち遠しいですね。

受験生のいられる御家庭は風邪対策で大変だったでしょうね。泣いても笑ってもあと少しで受験も終わります。頑張ってください。

心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

韓国の平昌冬季五輪で日本の選手が頑張っている姿に感動しました。韓国と北朝鮮との突然の友好は、スポーツの祭典に政治色を持ち込み、平和の祭典には疑問です。

核なしで世界の国が手を結び 互いを敬い個性豊かに

倉敷市中島 山田 孝治

寒椿冷たい風に負けないで 春を待ちつつ今凛として

倉敷市上東 政久とよ子

心光寺の本堂で、平成28年の秋より始まった『楽々のびのび体操』も第2・第4の金曜日2時から3時まで、無料で続いています。参加は誰でもOK。お寺に電話を。

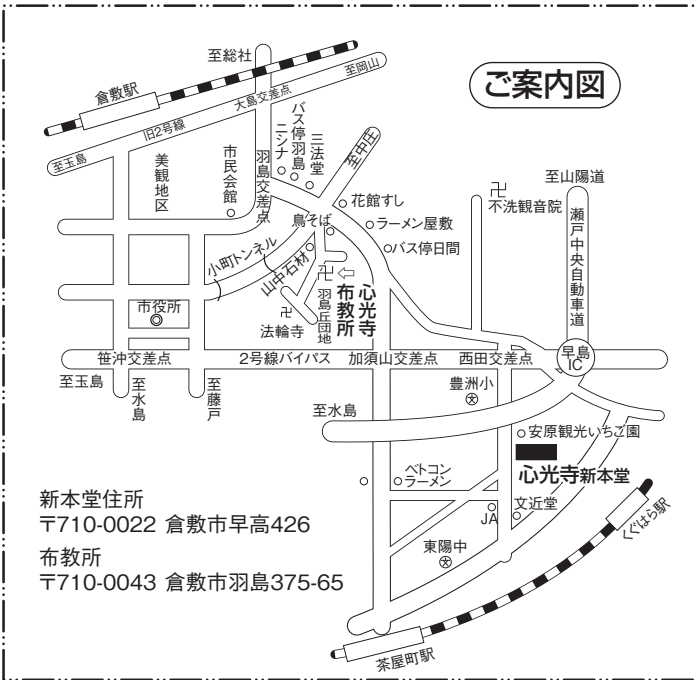
倉敷市西中新田 古谷 洋子

ともしび説法

日時・三月 七日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで
四月 十五日「日曜日」 午前十時半から午後四時まで
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび法話・お寺の行事予定
四月 十五日(日)・午前十時半から午後四時・早高の本堂。
午前・ハンドベル・パンフルート演奏、午後・永代経法要。
五月 九日(水)・午後一時から午後四時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。
会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



- ◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございます。ごさいました。
- 倉敷市 高橋様 三千元 早島町 仁熊様 四千元
 - 倉敷市 石田様 上中様 漆谷様 前島様 重政様 橋本様 四千元
 - 岡山市 津田様 玉野市 北村様 四千元 倉敷市 久安吉子様 五千元
 - 倉敷市 山形田鶴子様 木戸カヨ子様 一万円

いのちの詩

卒業式は新しき出発の日
楽しかった日々 苦しかった日々
力をあわせ ときには喧嘩した
つらい涙が私を育てる
天気の良い日も 悪い日も
友と歩いたこの道
別れの日は来た さあ出発だ



カット:吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしょうにん)です。
お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「338号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅に12時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡を下さい。合掌 心光寺 総代長 三村 健